



搾乳担当は、早番や休日出勤も行う

岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センターは、8名の障がい者を雇用しており、柳戸キャンパス内にある農場では、乳牛・産卵鶏の飼育、野菜・水稻・果樹・花の栽培など幅広い作業に従事している。身分は毎年契約を更新する非常勤職員で、勤務時間は1日6時間、家族の希望もあって毎日出勤し、午前8時30分から午後4時30分まで勤務している。

「平成16年に現職に就いたのですが、農場の技術職員が削減され慢性的な人手不足。農福連携に取り組んでみたいと考え、あちこち相談してみたものの相手にしてもらえませんでした」。農業は3K、障がい者の親御さんの理解を得ることは難しいのではないかと言われたそうだ。

転職となったのは、平成20年、在学中にも膜下出血で倒れ、高次脳機能障害になった卒業生を紹介されて農場に受け入れたこと。「優秀な人で、昔の記憶はしっかりしていますが、新しい記憶が維持できないので繰り返し指示する必要があります。草取りから始め

農福連携なんてできるのか？が、 今ではかけがえのない仲間

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学応用生物科学部
附属岐阜フィールド科学教育研究センター 教授 大場 伸哉さん



大場 伸哉 さん

ましたが、当初はどう対応していいかわからず手探りでした。雇用は延長できませんでしたが、現在も週に2回、お父さんが付き添い、ボランティアとして働いてくれています」と、大場教授は振り返る。

「本学応用生物科学部は、岐阜高等農林の流れをくむ農学系の学部ですが、いまどき、子どもを『百姓』にしたくて大学に入れる親はいないと、農学部を改称したのが平成16年です。必ずしもみんなが応援してくれるわけではない時代に、障がいのある卒業生を受け入れ、農福連携に取り組むことになったことを機に、この取り組みが正しいことであり、社会的にどういう意味があるのか、国内外を調査することにしました。す

ると、アメリカの『アグリナビリティ』、オランダの『ケアフーム』、イタリアの『農福協同組合』など、日本以上に外国での取り組みが進んでいることがわかりました。ハンデがあっても、危ない作業、3Kの作業にも従事しています。日本流に『危ない仕事をさせてはいけないのでは』と聞くと、スタッフは『危なくても健康者はやっている。ハンデがあるからやらなくてよい、ハンデがないからやってよい』というのは差別ではないか。危険に対して何の手立てもとらないことはない。仕事には何らかのリスクがあり、リスクに応じて報酬をもらう。仕事はそういうものでしょう』という。『それに、事故を起こす原因は機械を止めてから詰まりを取り除くなどの手順を守らないところから起きるもの。障がい者は慎重にマニュアルに



1週間の作業予定が決まっていて、指示により適切に収穫していく

ドルが高い作業ですが、現在、3名が搾乳作業を行うことが出来ます。比較的軽度で運転免許を持つている人もいます。小型建機の特別教育を受けてもらって、ホイールローダーを運転して、たい肥を運ぶ作業をしてもらっている人もいます。」

花き担当技術職員
の矢野倫子さんは、「み

従うので案外事故は少ない』という。日本人の向き合い方とずいぶん違うと思いました」。

岐阜大学では、平成20年から特別支援学校のインターンシップを受け入れており、卒業後の雇用につなげている。日常生活に介助が必要なく、自分のことは自分で出来ることが受け入れの条件。農場の技術職員とチームを組んでいろいろな仕事に取り組んでいる。

「農家と違い、単作ではなく複合なので、年中作業があります。最初は米や野菜から始め、適性を見ながら鶏舎、牛舎の作業に進めていきます。酪農は、搾乳していない牛と出産後で抗生剤を打っていて搾乳できない牛を見分ける必要があるし、おなかの下に潜り込んで搾るので、ちゃんと対処できないと事故になることから、農場の中で一番ハ

んな頑張っています。職員としては、その人の特性を見て、何を任せられるかを判断し、その人に合わせてスキルアップさせていきます。刈払機の講習を受け、草刈ができる人もいます。車の免許が取れたら、運搬車の運転もしてもらいます」。

農場としては人手不足の解消という利点があり、障がい者は作業スキルがアップしていく。給料は安いですが、休暇や労働保険などの福利厚生がしっかりした安定した職場で、双方にメリットのあるwin-winの関係になっている。

「こんなことやって大丈夫か、現実に農福連携なんてできるのか」と慎重だった農場職員にとって、農場で働く障がい者は、今ではかけがえのない仲間、必要不可欠のスタッフになっている。



収穫した野菜は、農場内の直売所で販売されている

取材メモ

柳戸農場(岐阜市・8.66ヘクタール)
作業内容…米、花き、野菜、果樹等の栽培
乳牛(約15頭)、
産鶏卵(約1,500羽)の飼育
障がい者雇用…7名

美濃加茂農場(美濃加茂市・9.84ヘクタール)
作業内容…肉牛(100数十頭)の飼育
障がい者雇用…1名